

岐阜市(北陸・中部ブロック)

【2期 計画期間 24年10月～30年3月】

- ・室町期：斎藤氏、織田氏の居城が築かれ、政治・経済の中心地となる
- ・明治期：濃尾大地震で市街地の約37%が焼失。その後、柳ヶ瀬や神田町通りに商店街が誕生
- ・戦後期：空襲で市街のほとんどが焼失したが、岐阜駅前に繊維問屋街が発展、それに伴い柳ヶ瀬も全国有数の繁華街に成長

【1期計画の概要】

○集約型の都市構造を目指し、集客の核となる商業施設や公共施設、大型タワーマンション等の整備や、市の歴史・特色を活かした活性化イベント等を実施すべく、1期計画を実施。

【中心市街地を巡る状況】

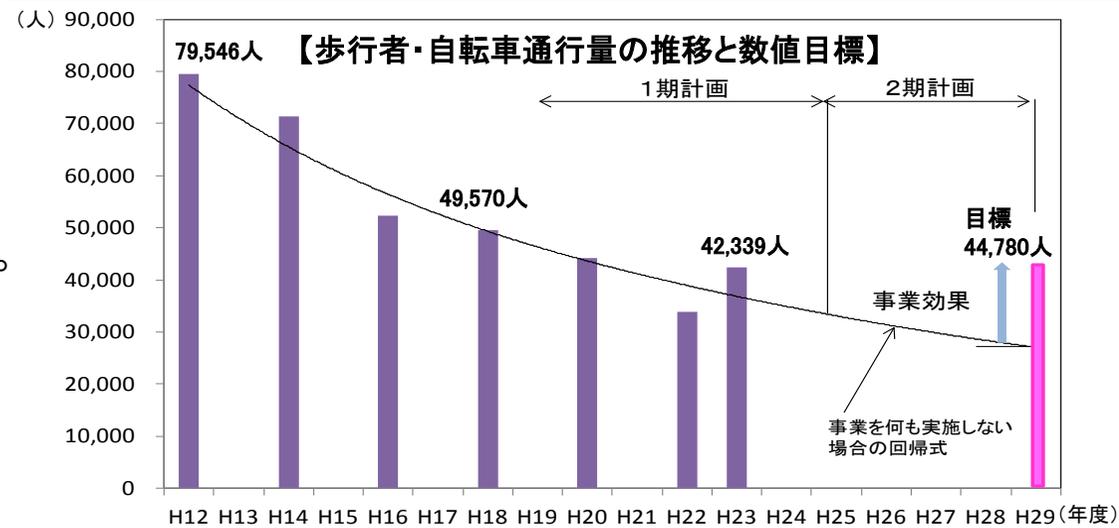
○通行量と空き店舗数は下げ止まりの傾向が見られ、居住人口も回復傾向に。1期計画を通じて一定の活性化が図られている。

○しかし、個別エリアで見ると、岐阜駅周辺では大型市街地再開発等により想定以上の賑わいが創出できたが、柳ヶ瀬では想定ほど活性化が図られず。



○今後は、柳ヶ瀬自体の「まちの魅力」を高めるハード・ソフト両面の事業を確実に行う一方で、賑わいが戻っているエリアからの回遊性を促す事業等により、更なる活性化を図る。

目標	指標	現況値	目標値
にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量 (柳ヶ瀬周辺地区)	42,339人 (H23)	44,780人 (H29)
	新規出店店舗数 (柳ヶ瀬地区)	8.8店舗 (H19～23)	11店舗 (H24～29)
まちなか居住の推進	居住人口の 社会増減数	-85人 (H19～23計)	プラスに (H25～29計)



- にぎわいの創出を目指す。
 - ⇒主要事業:「高島屋南地区第一種市街地再開発事業」、「つかさのまち夢プロジェクト」「SWC推進事業(健康ステーション事業)」、他
- まちなか居住の推進を目指す。
 - ⇒主要事業:「問屋町西部南街区第一種市街地再開発事業」、「中心市街地新築住宅取得助成事業」、他

岐阜市中心市街地活性化基本計画の事業概要

にぎわいの創出

中心市街地領域：約170ha

まちなか居住の推進

- ①つかさのまち夢プロジェクト
(岐阜大学医学部等跡地第1期施設整備事業)
図書館、交流センター、ギャラリー、親樹空間からなる
知・絆・文化の拠点「ぎふメディアコスモス」を整備

イメージパース



- ②高島屋南地区第一種市街地再開発事業
高島屋の南隣接地に住宅120戸、
商業、公益施設等からなる複合施設
(35階建て)を整備し、商業活性化と
まちなか居住推進を図る

イメージパース



- ③商店街情報発信拠点整備事業
商店街にまちの情報発信拠点及び交流拠点施設を
運営するとともに、施設を活用した各種イベントを開催



- ④春夏秋冬イベントシリーズ
道三まつり(春)、岐阜ど真ん中夏まつり
(夏)、ぎふ信長まつり(秋)、(仮称)メガ
街コン(通年、冬)

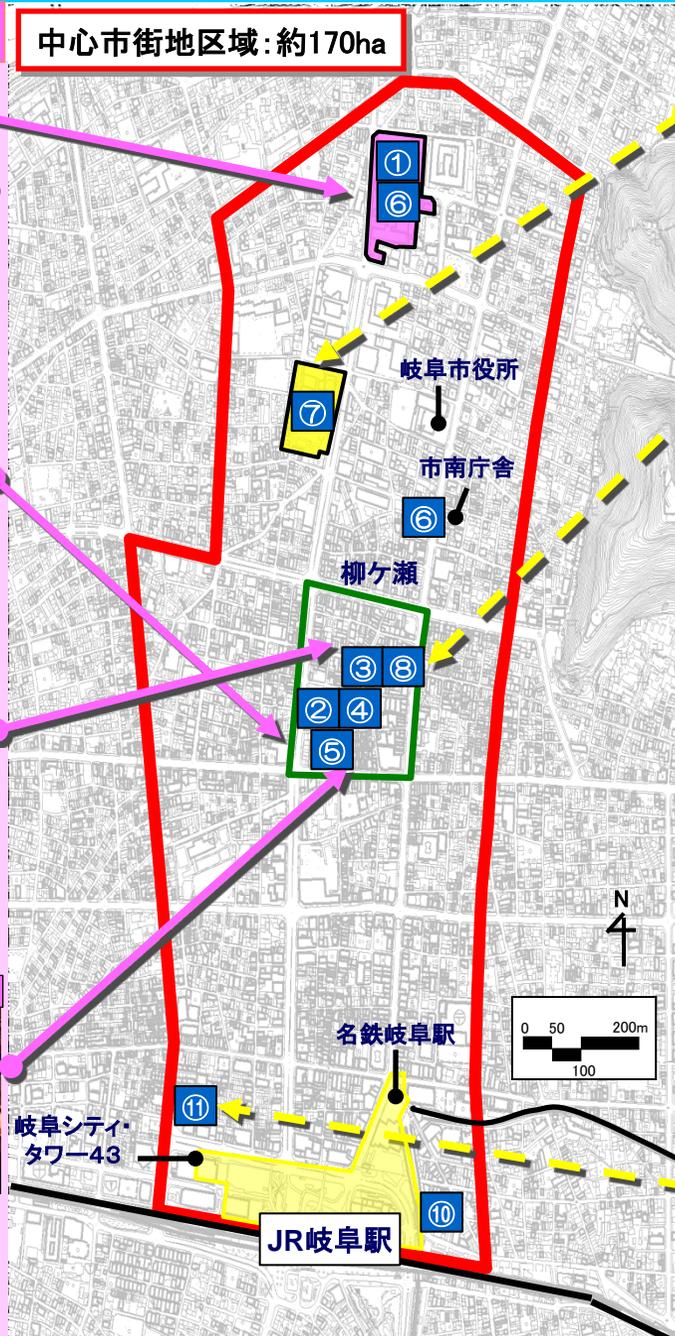
街コンイメージ



- ⑤岐阜市中心市街地活性化コンソーシアム事業
空き店舗を活用し、大学等による展示
ショップ、教育実践ショップを開設



- ⑥レンタサイクルポート整備事業
(新設箇所は岐阜大医学部跡地。その他は継続)



- ⑦(仮称)総合教育支援センター等整備事業
閉校した小学校校舎を利用し、
幼児～18歳までの教育支援・相談の中核機能、中央
青少年会館を整備



- ⑧SWC推進事業(健康ステーション事業、
スマートウェルネスぎふ健幸ウォーク、他)
健康増進等を目的に、柳ヶ瀬に健康ステーション
を整備。健康測定機器の設置、健康教室や
まちなか回遊ウォーキングイベントの開催等
により、住みたくなる魅力的なまちづくりを進める



- ⑨中心市街地新築住宅取得助成事業
中心市街地個人住宅取得資金利子補給事業
まちなか賃貸住宅家賃助成事業
中心市街地等において、新築住宅の取得費用
補助や住宅ローンの利子補給、家賃補助を
行い、まちなか居住の推進を図る。

- ⑩岐阜駅北口土地区画整理事業

- ⑪問屋町西部南街区第一種
市街地再開発事業

- 住宅270戸、商業、業務施設等
の複合施設(37階建て)を整備し、
人口増加と賑わい創出を図る。



イメージパース